

前橋市 市制施行130周年記念事業

新 能 新 皇 将 門

作画・長野剛

題字・栗原幸夫

令和4年
10月28日(金) 18:00



梅村 昌功



加藤 眞悟



下平 克宏



森 常好



野村 万作

後援

国立能楽堂、群馬県、前橋市
前橋市教育委員会、茨城県坂東市
高崎市、上毛新聞、総社神社、小川屋

昌賢学園まえばしホール 大ホール 群馬県前橋市南町 3-62-1
2022年10月28日(金) 17:30 開場 / 18:00 開演 / 20:45 終演予定
全席指定 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円 学生席(C席) 1,500円(一般2,500円)

チケット販売・お問い合わせ
梅村能の会 080-5807-2416
umemuranhonokai@gmail.com

ご挨拶・解説

| | | |
|----|--------|-------|
| 挨拶 | 前橋市長 | 山本 龍 |
| | 総社神社宮司 | 根岸 義貴 |
| | 能楽師 | 梅村 昌功 |
| 解説 | 上武大学教授 | 中村 光一 |

番組・出演者

6時30分

| | | | |
|----|--------|-------|-------|
| 仕舞 | 賀茂 | 下平 克宏 | 地謡 |
| | 巻 絹 夕七 | 梅若 紀彰 | 加藤 眞悟 |
| | 将門 | 梅若 紀長 | 長谷川晴彦 |
| | | | 青木 健一 |
| | | | 梅若 志長 |

| | | | |
|----|----|---|------|
| 独吟 | 鉢木 | 語 | 森 常好 |
|----|----|---|------|

| | | | |
|----|----|----|-------|
| 狂言 | 貫賀 | 舅 | 野村 万作 |
| | | 夫 | 高野 和憲 |
| | | 妻 | 岡 聡史 |
| | | 後見 | 月崎 晴夫 |

休憩 10分

7時40分

新作能 新皇将門

| | | | |
|-----|-------|----|-------|
| 龍神 | 加藤 眞悟 | 後見 | 梅若 紀長 |
| 女 | 長谷川晴彦 | | 梅若 泰志 |
| 将門 | 梅村 昌功 | 地謡 | 梅若 紀彰 |
| 興世王 | 野口 琢弘 | | 角当 直隆 |
| 笛 | 一噌 幸弘 | | 古室 知也 |
| 小鼓 | 幸 信吾 | | 青木 健一 |
| 大鼓 | 大倉正之助 | | 中村 政裕 |
| 太鼓 | 大川 典良 | | 梅若 志長 |

終了予定 8時45分

演目解説

貫賀 もらいむこ



酒を飲んで帰宅した夫が、酔った勢いで妻を追い出してしまう。泣く泣く実家に戻った妻は、たびたびの夫の酒乱に呆れ果て、帰宅を促す父親の説得にも一向に応じない。翌朝、酔いが覚め後悔した夫は、舅を訪ね、妻を返してほしいと頼むのだが…

新皇将門 しんのうまさかど

上野国府を制圧した将門の所に女が案内され、自分は総社明神に仕える者であることを告げ、声高らかに祝詞をあげて将門が新皇の位を天から授かったことを伝えます。

将門が驚き敬服していると、空に雷火乱れ天地が響き赤城山が紅に染まり大沼から龍神が現れ、新皇となったことを祝福し桑の枝を与えます。千年以上も前にこの地で起きた歴史的大事件を新作能にし、壮大なスケールで表現します。是非お楽しみください。

梅村能の会

代表 梅村 昌功 うめむら まさよし



ワキ方宝生流能楽師。1960年3月10日生。国立能楽堂三役養成所第一期生。宝生弥一師、森茂好師、宝生閑師、工藤和哉師、森常好師に指導を受ける。茨城県、千葉県の下総地区で14回の薪能公演を主催。2013年に茨城県坂東市で新作能「将門」公演に携わる。2020年2月に能「道成寺」を観世宗家特別出演で披く。2016年より森常好師に師事。

会場案内 昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）

群馬県前橋市南町 3-62-1
JR 両毛線・前橋駅から徒歩 9 分
関越自動車道・前橋IC より 20 分
関越自動車道・高崎IC より 25 分



アクセス詳細



大ホール座席表



昌賢学園まえばしホール
(前橋市民文化会館)